

住みなれた地域で

自分らしい暮らしを続けられるように

認知症初期集中支援チーム

がお手伝いします

「認知症初期集中支援チーム」は、認知症が疑われる方等のご自宅に訪問し、ご本人の様子の確認やご家族への助言などの支援を、初期の段階に様々な面から集中的に行います。

～チーム員(香川井下病院)からの一言～

ご自宅を訪問し、ご本人・ご家族の困りごとをお聞きし、医師からの専門的なアドバイスを受けながら対応していきます。認知症になっても地域で安心して暮らせるお手伝いができるように頑張っていきます。



支援の流れ



認知症かな？

どう対応したら良い？

① 相談 まずは、地域包括支援センターへ相談

② 家庭訪問 地域包括支援センターの職員がご自宅を訪問し、初期集中支援の対象かどうかを確認します

③ 認知症初期集中支援チームの支援開始

チーム員(香川井下病院の職員)がご自宅を訪問。ご本人やご家族の生活の様子や困っていることをお伺いして、必要な支援やサービスにつなげていきます。(6か月を目安に支援)

たとえば・・・

- ・かかりつけ医への相談や必要に応じて専門医療機関への受診をうながします
- ・必要な医療や介護サービスの検討を行います
- ・認知症の症状に応じた対応や、日常生活などについてアドバイスを行います



④ 認知症初期集中支援チームの支援終了

その後は、ケアマネージャーなど関係機関へ引き継ぎます

Q どんな人が対象になるの？

- A 40歳以上で、在宅で生活している認知症が疑われる人、または認知症の人で次のいずれかに該当する人
- ・認知症の診断を受けていない、または治療が中断している
 - ・介護サービスを利用していない、または中断している
 - ・医療や介護サービス等を利用しているが、認知症の症状が強く、対応に困っているなど

認知症は早期発見・早期対応が大切です。認知症が気になる方、認知症の家族のことでお悩みの方は、**地域包括支援センター**にご相談ください。

